

89年度

1989.11.17~12月

愛知のたたかうローカルセンター 熱い期待と共同の広がりのなかで 『愛労連』を結成

一九八九年十一月十七日、多くの労働者・労働組合、民主団体、県民から期待され、待ちに待った「愛労連」（愛知県労働組合総連合）が県下のたたかう労働組合の総結集で結成されました。

井上利雄・初代議長は、「明るく、親しまれ、頼りになる、そんな愛労連をめ



愛労連結成大会…21単産・単組15地域が加盟。
他に3組合7地域がオブ加盟。73,000人を結集



愛労連スタートは、新事務所で

ざしたい」と決意を表明。「愛労連」のめざす道、基本的構想や綱領・規約は、討論のなかで一〇〇を超える補強意見がだされたみんなの知恵と力で行ったものでした。結成総会は、「みんなで決めて、みんなでたたかう」愛労連を大きく、の決意を固めました。

11・21 全労連を結成

「希望に輝く未来のために、いまともにたたかう」のスローガンを掲げ、東

京・日比谷公会堂で、一九八九年十一月二日、二七単産・四一地方組織・一四〇万人の組合員が結集し、たたかうナショナルセンター・全国労働組合総連合（全労連）が結成されました。

地域労連も次々に結成

全労連・名古屋中地域労働組合センター
八九年十一月二日
尾張中部地区労働組合総連合
八九年十一月五日
千種・名東地域労働組合総連合
八九年十一月十二日
名古屋中川地域労働組合センター
八九年十一月十五日
守山地域労働組合連合会
八九年十一月十五日
港地区労働組合協議会（定期大会で加盟）
八九年十一月十六日
一宮地区労働組合総連合
八九年十一月二十五日
全労連愛知・中村地域労働組合センター
八九年十一月二十八日
熱田区労働組合会議
八九年十二月十四日
名古屋南地域労働組合総連合
八九年十二月十九日

世相

リクルート事件・マドンナ・内外価格差・ホタル族・ふれあい恐怖症・オバタリアン・濡れ落ち葉・セクハラ・クロワッサン症候群・お局様・みつぐ君

歴史家は「歴史は創造的少数者によって拓かれる」といいます。

愛労連結成十年余の歩みは、まさにこの榮譽を担った試練と苦闘の連続でした。私たちは、労戦統一の選択で新しく階級的ナショナルセンター結成という創造的歴史的事業にいち早く参加し、意気高くたちあがりました。

この愛知は、「ガメツイ哲学」を誇り、人間カンバン方式という非人間的な労働を強制し、金儲け連

続日本一のトヨタを中心に大企業と「連合」派勢力の影響が際だっています。

長時間残業日本一、労働災害、過労死、不当労働行為があいつぐなど『労働者地獄』の地域で二六〇



愛労連・初代議長
井上 利雄さん

万労働者の内の七割近くが未組織状態です。

この地に、まじめに、まともにたたかう労働者の根性と労働組合の存在を示し、「親しまれ、頼りになる」大きなローカルセンターを確立することが愛労連結成の意義と役割でした。

このとき私たちは、「労働組合とは」「階級的ナショナルセンターとは」「ローカルセンターの役割」「連合の『進

愛知の労働運動に「確固たる存在」

親しまれ、頼りにされるローカルセンターめざして

路と役割』、規約・運動方針」「地方連合会の結成について」「統一労組懇の

『階級的ナショナルセンター確立の展望と骨格』などについて白熱した討議を積み重ね、真に労働戦線統一の母体となりうる組合員が主人公の新しい綱領と規約をつくりあげました。結成後は、労働者の団結と統一の力を歪め資本の手先、悪政の助っ人となる「連合」路線に反対し、「人間らしく生き、

働くために」「職場と暮らしに憲法を」のスローガンのもと共同の広がりを大切にし、全力投球をしてきました。

いまや愛労連は、働くものの切実な要求実現と希望に輝く未来を拓く団結と統一の砦として「確固たる存在」となり、労戦統一での私たちの選択が「確かな選択」であったことを実証しています。

平和と民主主義を守り、資本の横暴と悪政に立ち向かうたたかいのなかで共同する人々から「愛労連があつてよかった」とよくいわれますが、

この言葉は「頼りになるローカルセンター」として愛労連が認められ励まされていることの現れです。

労働者の唯一の社会的力は団結と統一してたたかう「多数の力」です。労働組合の組織率が低く、多くの人々が未組織状態にある現在、愛労連が『大きな数』『大きな力』『大きな影響力』をもつローカルセンターとしていっそう輝くよう、ますますのご奮闘を期待します。